

平成16年3月25日

各位

会社名 荒川化学工業株式会社
本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
代表者名 取締役社長 末村 長弘
(コード番号 4968 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 常務取締役経営企画室長 中尾 光良
TEL (06)6209-8500(代表)

梧州荒川化学工業有限公司の出資持分増加（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成16年3月25日開催の取締役会において、中国広西壮族自治区に合弁で設立している梧州荒川化学工業有限公司（持分法適用関連会社）の出資持分増加により、子会社化することに関する基本契約書の承認を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 出資持分増加の理由

当社は、昭和42年（1967）に最初の海外進出として、台湾に合弁会社を設立し、ロジン関連製品（製紙用サイズ剤）の生産を開始しました。以来、昭和57年（1982）に米国、平成7年（1995）に中国の梧州、香港、タイ、翌平成8年に中国の廈門、平成10年（1998）ドイツにそれぞれ現地法人を設立することによって、技術・生産・販売のあらゆる角度からグローバル化を推進し、日本の荒川から世界の荒川へと、そのネットワークを広げてきました。また、中国上海近郊の南通市に製紙用薬品の製造を中心とする生産拠点として、南通荒川化学工業有限公司（仮称）を設立（平成17年（2005）中頃竣工予定）することを決定しております。

平成7年（1995）に設立した梧州荒川化学工業有限公司は、ロジン誘導体事業の海外展開の一環として、中国最大のガムロジンの生産工場である中国梧州松脂廠（現 中国広西梧州松脂股份有限公司）と商社のニチメン株式会社とともに、製紙用サイズ剤および粘着・接着剤用樹脂の製造販売を目的として設立しました。

当社の中期5ヵ年経営計画（平成15年4月～平成20年3月）では、これまで進めてきたグローバルな展開のさらなる発展を目指しており、事業展開としては、アジア地域、特に伸長が著しい中国における市場開拓を推進しております。中国は当社主要原料であるガムロジンの世界最大の産地でもあり、また近年は経済成長にともないロジン関連化学製品（製紙用薬品、印刷インキ・塗料用樹脂、粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤等）の需要も急増しております。

このような状況のもと、荒川化学グループとして中国における事業展開をより迅速に実施できる体制を整備し、よりいっそうの中国事業の伸長を目指すために、ニチメングループ出資持分の譲り受けによる梧州荒川化学工業有限公司の子会社化を実施することといたしました。

2. 今後の見通し

子会社化により梧州荒川化学工業有限公司の業績が、当社の連結決算に影響してまいります。現時点では、当該会社は従来通りの業績があげられるものと想定しています。詳細については、平成16年3月期業績概況の公表時にお知らせします。

以上

[参考資料]

荒川化学グループ国際展開の歩み

明治

9年11月 荒川政七が大阪市東区伏見町2丁目に生薬商を開業

昭和

6年 1月 合資会社荒川商店に改組

18年11月 荒川林産化学合資会社に改称

31年 9月 荒川林産化学工業株式会社に改組

42年 5月 天立化学工業股份有限公司（現、台湾荒川化学工業股份有限公司）を設立

43年 5月 台北駐在員事務所を開設

50年 6月 ハンブルク駐在員事務所を開設（現、ARAKAWA Europe GmbH に承継）

52年 4月 荒川化学工業株式会社に改称

57年 5月 ARAKAWA CHEMICAL (USA) INC. を設立

平成

7年 6月 梧州荒川化学工業有限公司を設立

7年 7月 ARAKAWA CHEMICAL (THAILAND) LTD. を設立

7年10月 香港荒川化学有限公司を設立

8年 8月 廈門荒川化学工業有限公司を設立

10年11月 ARAKAWA Europe GmbH を設立

15年11月 上海駐在員事務所を開設